

アフリカデー・シンポジウム
2007年5月25日（金） 於：国連大学

松島外務大臣政務官スピーチ

本日はアフリカデー・シンポジウムにお招きいただきありがとうございます。ハンナシ在京アフリカ外交団長閣下、ファン・ヒンケル国連大学学長、アフリカ諸国大使、並びにアフリカに御関心をお持ちの他国の大使の方々、御来場の皆様、このように満員で立ち見も出るほど、アフリカデー・シンポジウムが盛大に開催されることを嬉しく思います。

○AU（アフリカ統一機構）が30カ国でスタートしてから44年が経ち、AU（アフリカ連合）となった現在では53カ国・地域が加盟しております。

2004年～06年のGDP経済成長率の平均が5%を超えるアフリカの国は20を数えています。本日のシンポジウムのテーマ「日・アフリカ間のインフラ、貿易及び投資の促進のための金融的手段」にもありますように、経済の発展・成長は、民主主義の定着、また、法の支配を支えるために極めて重要なものです。

我が国は、93年からのTICADプロセスにより、経済成長を通じた貧困削減を主要テーマの一つとし、アフリカの貿易投資促進に様々な形で重点的に取り組んでまいりました。来年は横浜で第4回TICADが開催される予定であり、引き続き洞爺湖G8サミットにおいてもアフリカについての重要な議論が行われることを期待しています。

我が国は、TICADを通じた様々な試みを行ってきました。ここで、いくつかの例を

御紹介したいと思います。

本年2月には、第4回アフリカ・アジア・ビジネス・フォーラムがタンザニアで開催されました。これはアフリカ・アジア間の直接投資と貿易の促進を目的としており、実際にビジネスの商談を行う場です。今回は日本企業10社を含むアジア企業30社及びアフリカ企業123社の参加により、覚書ベースで113件、総額にして約1億4千万米ドルの商談が成立しました。これは過去3回分の取引総額に匹敵するものです。

また、今日のテーマの中でも詳しく触れられることになるとと思いますが、金融手段を通じた貿易投資促進策として、日本貿易保険は、05年7月以来、アフリカの計31カ国に対し、貿易保険引受方針の緩和を行ってまいりました。このように、日本とアフリカの間での貿易投資が順調に行われるよう支援を行ってきております。

さらに、マラリアを媒介する蚊を防ぐための蚊帳に防虫剤を練り込み、5年間効果が続くものを住友化学が開発していますが、我が国は、2007年までにこの蚊帳1,000万張をアフリカ諸国に供与することを発表しています。この事業はUNICEFとも協力しながら行っているもので、試算によれば、1,000万張の蚊帳で2,000万人の子供をマラリアから守ることができ、毎年11～16万人のアフリカの子供が命を落とさなくてすむこととなります。住友化学とタンザニア企業の合併会社が蚊帳の製造工場を運営しており、国際協力銀行は、その建設のための資金を融資しています。

先ほど森喜朗 日・AU友好議連会長のお話を伺いながら、私自身の印象的だった経験を

思い出しましたのでここで話ししたいと思います。数年前、森会長が在京のアフリカ女性大使及びアフリカ大使夫人を招いて、女性国会議員との会合を開いてくださいました。当初、私は外交に女性も男性も関係ないのではないかと考えておりましたが、その会議に出席して、アフリカでは女性が水汲みなどの労働によって就学機会を制限されたり、古い慣習によって女性が辛い思いをしていることを知りました。男女の区別なく将来の夢を追うことのできる社会の実現は重要なことです。

先般来日されたリベリアのジョンソン＝サーリーフ大統領がこの国連大学で講演された際、私も歓迎の辞を述べさせていただきました。アフリカ初の民選女性大統領の姿に強く印象づけられ、アフリカの紛争終結、民主主義の確立、男女の教育機会の平等を願い、今後も支援を行っていきたいと考えております。アフリカ諸国とは歴史的にも障りない我が国が、世界銀行や国連開発計画と協力し、アフリカ諸国の首脳に参加を得て、是非来年のT I C A D IVを成功させたいと思っております。

来年のT I C A D IV及びG 8洞爺湖サミットでも、アフリカについて活発な議論が行われることと思いますが、これは森元総理が先鞭をつけられたものです。来年も、これらの会議の場で、アフリカを中心テーマとしてしっかりと議論が行われることを念願しております。

最後になりましたが、本日のシンポジウムの実現に御尽力された在京アフリカ外交団及び国連大学に御礼を申し上げます。ありがとうございました。

(了)